

公式テキスト・公式過去問題集について

発行：中央経済社 編者：大阪商工会議所 ※全国の主要書店で販売しています。



「ビジネス会計検定試験
公式テキスト3級(第5版)」
2023年3月発行 1,870円(税込)



「ビジネス会計検定試験
公式テキスト2級(第6版)」
2024年4月発行 2,530円(税込)

新刊発行予定

「ビジネス会計検定試験
公式テキスト1級(第4版)」
2025年4月発行予定



「ビジネス会計検定試験
公式過去問題集3級(第6版)」
2024年9月発行 1,980円(税込)



「ビジネス会計検定試験
公式過去問題集2級(第6版)」
2024年9月発行 2,200円(税込)



「ビジネス会計検定試験
公式過去問題集1級(第4版)」
2022年9月発行 2,640円(税込)

改訂・正誤表に関する最新の情報は、公式ホームページでご確認ください。

2024年新規開講!



2級・3級試験対応!
オンデマンド配信なので通勤・通学などの
スキマ時間での視聴や、苦手な分野を繰
り返し学習することも可能!
詳細はセミナーページをご覧ください。

セミナーページ



企業が求める人気資格 日商簿記

簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。

- 1級 公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。
- 2級 経営管理に役立つ知識として、最も企業に求められる資格の一つ。
- 3級 ビジネスパーソンに必須の基本知識。小規模企業の経理事務に役立つ。

| | | | |
|------------|-------|------------------|---------------------------|
| 統一試験 日程 | 第170回 | 2025年 6月 8日(日) | 2, 3級はネット試験も 実施しております。 |
| | 第171回 | 2025年 11月 16日(日) | |
| | 第172回 | 2026年 2月 22日(日) | |

詳細は、日本商工会議所 簿記検定 (<https://www.kentei.ne.jp/bookkeeping>)

検定試験のお問い合わせ先

検定試験センター

☎ 06-6944-6295 (土・日・祝休日・8/15・
年末年始を除く10:00~17:00)

🌐 <https://www.b-accounting.jp>

✉ info@b-accounting.jp

ビジネス会計

検索



※掲載者の所属・役職等は2025年2月現在のものです。

いま、多くの企業・ビジネスパーソンが注目!

The Japan Accounting and Financial Analysis Examination

ビジネス会計 検定試験®

2025年度 検定試験のご案内

簿記の
知識が
なくても
OK!

企業の
今と未来
を読み解く
チカラを身につける

16年間で

約2.2倍に!

6千人

2007年度

13万人
2023年度

第37回 試験日: 2025年10月19日(日)

2級
3級

第38回 試験日: 2026年3月8日(日)

1級
2級
3級

受験地 札幌・仙台・さいたま・東京・横浜・新潟・金沢・静岡・名古屋・
京都・大阪・神戸・岡山・広島・山口・松山・福岡

※本検定試験に申し込まれた方は、公式ホームページ (<https://www.b-accounting.jp/>)
に記載されているすべての事項について同意しているものとみなします。

主催/大阪商工会議所 施行商工会議所

“ビジネス会計検定試験”は大阪商工会議所の登録商標です。

ビジネス会計検定試験[®]とは

あらゆるビジネスに必要な会計知識が身につく

ビジネス会計検定試験[®]では、財務諸表が表す項目・数値を理解し、財務諸表に関する知識・分析方法を身につけることができます。



あらゆるビジネスパーソンのスキルアップに役立つ

会計知識は、「自社の財務状況を理解する」だけではなく、「新しい取引先や投資案件を評価する」、「新聞の経済面・金融ニュースを理解する」、「株式投資を行う」など、様々な場面で求められます。

つまり、ビジネス会計検定試験[®]の内容は、企業の財務・経理担当者はもちろん、営業担当者、企画担当者、管理職、経営者、また公務員・団体職員、学生の方まで幅広い立場の方に役立つものとなっています。

簿記検定試験とビジネス会計検定試験[®]の関係

簿記検定試験とビジネス会計検定試験[®]は、相互補完の関係になっています。

簿記検定試験は、日々の取引を記録し、仕訳などを通して財務諸表を作成するプロセスを主な出題範囲としています。

一方、ビジネス会計検定試験[®]は、財務諸表の作成時に用いられた会計基準や法令を理解し、財務諸表の分析を通して企業状況を把握することに重点を置いています。

両検定試験を学習することで、さらなる「会計リテラシー(財務諸表を理解できる能力)」の向上が期待できます。



↑このバナーが目印！
公式ホームページや
WEB広告等で配信中！

企業活動

仕訳

財務諸表

分析

企業状況把握

[簿記検定の主な範囲]

日々の取引を記録し、仕訳などを通して財務諸表を作成する能力



[ビジネス会計検定の主な範囲]

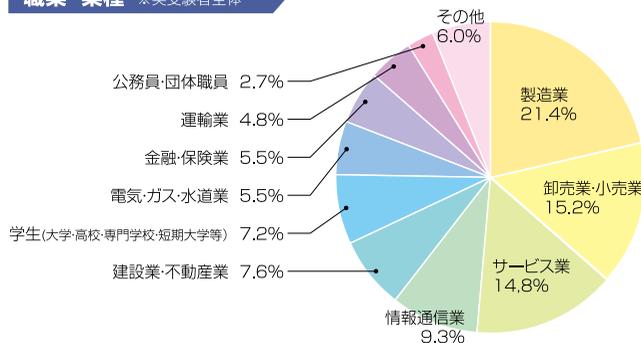
財務諸表を分析・利用し、安全性や収益性などの企業状況を把握する能力



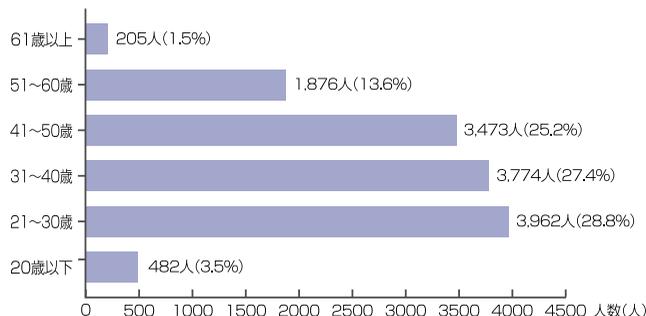
過去の受験者データ(2024年 第34回・第35回)

| | 級 | 申込者数(人) | 実受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率 |
|------|----|---------|----------|---------|-------|
| 第34回 | 1級 | 301 | 231 | 61 | 26.4% |
| | 2級 | 2,496 | 1,862 | 831 | 44.6% |
| | 3級 | 4,163 | 3,361 | 2,383 | 70.9% |
| 第35回 | 2級 | 2,228 | 1,707 | 746 | 43.7% |
| | 3級 | 4,584 | 3,862 | 2,182 | 56.5% |

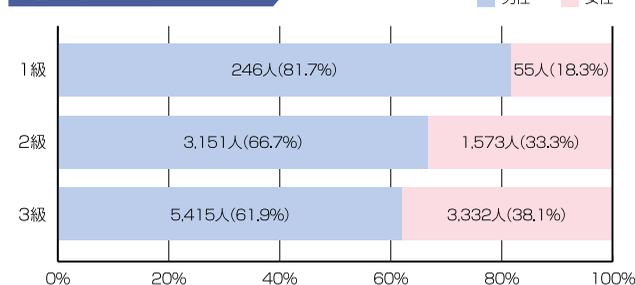
職業・業種 ※実受験者全体



年齢別 ※申込者数全体



男女比 ※申込者数全体



試験日程

| 第37回 2級 3級 施行 | |
|------------------|---|
| 試験日 | 10月19日(日) |
| 申込期間 | 【団体受付】 8月4日(月)～8月20日(水) 【一般受付:コンビニ店頭決済】 8月22日(金)～9月7日(日) 【一般受付:クレジットカード決済】 8月22日(金)～9月11日(木) |

| 第38回 1級 2級 3級 施行 | |
|---------------------|---|
| 試験日 | 2026年3月8日(日) |
| 申込期間 | 【団体受付】2025年12月17日(水)～ 2026年1月7日(水) 【一般受付:コンビニ店頭決済】 2026年1月9日(金)～1月25日(日) 【一般受付:クレジットカード決済】 2026年1月9日(金)～1月29日(木) |

受験票発送日、WEB成績票照会期間など詳しいスケジュールは公式ホームページにてご確認ください。



試験について

試験時間 (併願可)

- 1級 制限時間2時間30分(集合時間13:30)
 - 2級 制限時間2時間(集合時間10:00)
 - 3級 制限時間2時間(集合時間13:30)
- ※別に説明・配布・回収等約30分 ※1/2級、2/3級の併願可能

受験料 (税込み) ※適用税率10%

- 1級 11,550円(うち消費税1,050円)
- 2級 7,480円(うち消費税680円)
- 3級 4,950円(うち消費税450円)

受験資格

学歴・年齢・性別・国籍に制限はありません。

受験地

札幌・仙台・さいたま・東京・横浜・新潟・金沢・静岡・
名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・山口・松山・福岡
より選択していただけます。

※各受験地の会場(場所)につきましては、受験票にてお知らせいたしますので、事前のお問い合わせはご遠慮ください。

個人で申し込む場合

インターネット(公式ホームページ)からの申し込みになります。



団体に申し込む場合

企業、学校、団体などで申込人数が10名様以上の場合、
団体で一括申し込みが可能です。
団体申し込みには、窓口担当者による団体受験申請書の提出が必要です。
ご希望の際は、団体申込受付期間開始までにホームページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。



※お身体に障がいがある方や、妊娠中などで、受験の際に配慮を希望される場合には、受験上の配慮申請が必要です。ホームページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせいただき、提出が必要な申請資料をお送りいたします。日常生活においてごく普通に使用している補聴器・つえ・ルーペ・車いす等を使用して受験する場合には申請が必要です。申込期間終了日までに申請書ならびに証明書類の送付がない場合は、配慮いたしかねます。

試験当日に持参するもの

- 受験票(ハガキ)
※受験票発送日に普通郵便にて発送します。
- 筆記用具
※HBまたはBの黒鉛筆もしくはシャープペンシル、プラスチック消しゴムのみ。
- 電卓またはそろばん
※機能については下記の「電卓について」でご確認ください。
- 身分証明書
※運転免許証(運転経歴証明書)・パスポート・マイナンバーカード・学生証・社員証など、原則として、第三者機関発行で氏名・生年月日・顔写真が揃って確認できるもの(コピーしたものは不可)。上記の身分証明書をお持ちでない方は、事前に検定試験センターまでご連絡ください。
※電子の社員証や証明書は対象外です。
- 試験会場によっては時計がない場合があります。
※時計をお持ちいただく場合は、原則として通信機能のない腕時計に限りです。
※上記以外の物の使用や、机の上に置くことは原則できません。

電卓について

四則演算のみのものに限りです。
以下の機能があるものは持ち込みできません。

- 印刷(出力)機能
- メロディ(音の出る)機能
- 辞書機能(文字入力を含む)
- プログラム機能
(例:関数電卓等の多機能な電卓、売価計算・原価計算等の公式の記憶機能がある電卓)

ただし、次のような機能は、プログラム機能に該当しないものとして、試験会場での使用を可とします。

日数計算・時間計算・換算・税計算・検算(音の出ないものに限る)

出題範囲・合格基準

公式テキストの内容と、それを理解したうえで応用力を問います。
上位級は下位級の知識を前提とし、下位級のテキストの内容を含めています。
公式テキスト改訂に伴い、出題範囲を一部変更する場合があります。
出題範囲について最新の情報は公式ホームページでご確認ください。



■満点表彰制度について

満点で合格された方には、記念品を進呈いたします。
第1回～第35回まで、2級88名・3級1040名の方が満点で合格されました。
合格証書発送日の約1か月後をめどに発送いたします。



| | 内容 | 到達目標 | 出題範囲 | 問題構成/時間 | 配点/合格基準 | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|--|---|------------------------------|---|----|-----------|----|--|-----------|-----|--------------------|---------|-----|--|--|
| 1級 | 会計情報に関する総合的な知識として、投資関連の各種ディスクロージャーや財務諸表と計算書類の総合的な理解を深めます。特に財務諸表をより深く読み解くためにその構成要素のうち重要なものについて、会計基準の内容を理解し注記を含む補足情報の読み方について学習します。財務諸表分析は、より深く財務諸表を分析するための方法を学習します。また、概念フレームワーク、会計基準、内部統制やマネジメントにおける事業評価などにも活用できる企業価値分析の基本的な考え方や分析方法についてもビジネス会計の応用領域として学習します。 | 企業の成長性や課題、経営方針・戦略などを理解・判断するため、財務諸表を含む会計情報を総合的かつ詳細に分析し企業評価できる力を身につける。 | 1.会計情報に関する総合的な知識 (1)ディスクロージャー (2)財務諸表と計算書類 (3)財務諸表項目の要点 (4)財務諸表の作成原理 2.財務諸表を含む会計情報のより高度な分析 (1)財務諸表分析 (2)企業価値分析 | マークシート方式 および論述式 2時間30分 | 【配点】 200点 【合格基準】 論述式 50点以上かつ、 全体で 140点以上の得点 | | | | | | | | | | | |
| | 「準1級」認定制度について ※過去の受験者には適及しません。 1級受験者のより幅広い活躍を支援するため、不合格者の得点上位者を1級合格に準じ、「準1級」として認定します。(2015年度実施の第18回試験より) <input type="checkbox"/> 準1級認定対象者 ※「準1級」に該当する受験者には、認定書を送付いたします。 (成績票の試験結果は 1級不合格 となります。) | | 1級試験の合格基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th>得点</th> <th>合否区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200点～140点</td> <td>合格</td> <td></td> </tr> <tr> <td>139点～120点</td> <td>不合格</td> <td>論述式問題の得点が50点未満の受験者</td> </tr> <tr> <td>119点～0点</td> <td>不合格</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 得点 | 合否区分 | 備考 | 200点～140点 | 合格 | | 139点～120点 | 不合格 | 論述式問題の得点が50点未満の受験者 | 119点～0点 | 不合格 | | |
| 得点 | 合否区分 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | |
| 200点～140点 | 合格 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 139点～120点 | 不合格 | 論述式問題の得点が50点未満の受験者 | | | | | | | | | | | | | | |
| 119点～0点 | 不合格 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2級 | 有価証券報告書の連結財務諸表に記載されている項目と計算構造について学習します。3級で学んだ事項に加えて、さらに多くの分析指標を学ぶとともに、近年重要性の高まっているキャッシュ・フローの分析、企業の採算性を探る損益分岐点分析等、応用的な領域についても学習します。 | 企業の経営戦略や事業戦略を理解するため、財務諸表を分析する力を身につける。 | 1.財務諸表の構造や読み方、財務諸表を取り巻く諸法令に関する知識 (1)企業会計の意義と制度 (2)連結財務諸表の構造と読み方 2.財務諸表の応用的な分析 (1)基本分析 (2)連単倍率と規模倍率 (3)安全性の分析 (4)収益性の分析 (5)キャッシュ・フローの分析 (6)セグメント情報の分析 (7)損益分岐点分析 (8)株価等の分析 (9)1人当たり分析 | マークシート方式 2時間 | 【配点】 100点 【合格基準】 70点以上の得点 | | | | | | | | | | | |
| 3級 | 基本財務諸表としての貸借対照表、損益計算書、およびキャッシュ・フロー計算書(いずれも個別)に記載されている項目と計算構造について学習します。その上で、企業が成長しているのか、債務等の支払い能力はどうか、もうける力はあるか、株価は利益に対して高いか低いか等、財務諸表分析の基本を学びます。 | 会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎的な力を身につける。 | 1.財務諸表の構造や読み方に関する基礎知識 (1)財務諸表とは (2)貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の構造と読み方 2.財務諸表の基本的な分析 (1)基本分析 (2)成長率および伸び率の分析 (3)安全性の分析 (4)キャッシュ・フロー情報の利用 (5)収益性の分析 (6)1株当たり分析 (7)1人当たり分析 | マークシート方式 2時間 | 【配点】 100点 【合格基準】 70点以上の得点 | | | | | | | | | | | |

検定試験出題例

3級

Q 次の資料(単位:百万円)により、【問1】と【問2】の設問に答えなさい。

| | X1年度 | X2年度 | | X1年度 | X2年度 |
|---------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 流動資産 | 26,878 | 34,740 | 売上高 | 522,000 | 648,000 |
| 流動負債 | 27,300 | 26,100 | 売上原価 | 410,600 | 519,800 |
| 純資産合計 | 97,900 | 108,500 | 経常利益 | 10,500 | 10,400 |
| 負債純資産合計 | 135,700 | 145,658 | 当期純利益 | 9,700 | 10,600 |

問1 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

- (ア) 売上原価率は、X1年度からX2年度にかけて悪化した。
 (イ) 総資本経常利益率は、X1年度からX2年度にかけて改善した。

選択肢 ①(ア)正 (イ)正 ②(ア)正 (イ)誤
 ③(ア)誤 (イ)正 ④(ア)誤 (イ)誤

問2 次の文章の空欄に当てはまる数値と語句の適切な組み合わせを選びなさい。

- X2年度の流動比率は(ア) %であり、この指標からみた短期的安全性はX1年度からX2年度にかけて(イ)した。

選択肢 ①(ア) 98.5 (イ)改善 ②(ア) 98.5 (イ)悪化
 ③(ア) 133.1 (イ)改善 ④(ア) 133.1 (イ)悪化

解答 【問1】② 【問2】③

解説

問1 (ア) 損益計算書の各項目の金額を売上高で割ってパーセントで表すことにより、経営成績の比較が可能になります。

$$\text{売上高売上原価率}(\%) = \text{売上原価} \div \text{売上高} \times 100$$

売上原価率は低い方がよい(=費用は少ない方がよい)。

(イ) 総資本経常利益率は、代表的な収益性指標の1つです。

$$\text{総資本経常利益率}(\%) = \text{経常利益} \div \text{負債純資産合計} \times 100$$

問2 流動比率は、流動負債を決済するのに十分な流動資産があるかどうかを判定する指標で、その値が大きいほど安全性が高いといえます。

$$\text{流動比率}(\%) = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

2級

Q 次の資料(単位:百万円)により、【問1】と【問2】の設問に答えなさい。

| | X1年度 | X2年度 | | X1年度 | X2年度 |
|-------------|---------|---------|------------|---------|---------|
| 株主資本 | 342,271 | 351,094 | 売上高 | 508,241 | 632,807 |
| その他の包括利益累計額 | 859 | 728 | 売上原価 | 219,570 | 258,495 |
| 非支配株主持分 | 32,467 | 33,957 | 販売費及び一般管理費 | 237,362 | 283,226 |
| 純資産合計 | 375,597 | 385,779 | 当期純利益 | 9,700 | 10,600 |

※自己資本は制度上の自己資本を用いる。

※損益分岐点分析に用いる利益は営業利益とし、変動費に該当する費用は売上原価の40%、その他の費用はすべて固定費である。

問1 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) X2年度の自己資本当期純利益率は、13.2%である。

(イ) 自己資本当期純利益率を3つの要素に分解した場合、X2年度の方が自己資本当期純利益率が良好である要因は、主に総資本回転率にあると判断できる。

選択肢 ①(ア)正 (イ)正 ②(ア)正 (イ)誤
 ③(ア)誤 (イ)正 ④(ア)誤 (イ)誤

問2 次の文章の空欄に当てはまる数値と語句の適切な組み合わせを選びなさい。

X2年度の経営安全率は(ア) %であり、X1年度と比較して売上高の変動に対する利益確保の余裕が(イ)と判断できる。

選択肢 ①(ア) 17.2 (イ)高い ②(ア) 17.2 (イ)低い
 ③(ア) 82.8 (イ)高い ④(ア) 82.8 (イ)低い

解答 【問1】② 【問2】①

解説

問1 自己資本当期純利益率 = 売上高当期純利益率 × 総資本回転率 × 財務レバレッジ

$$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} \times \frac{\text{総資本}}{\text{自己資本}}$$

問2 ・損益分岐点 = 固定費 ÷ (1 - 変動費率)
 ・経営安全率(%) = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100

1級

問1 生産性に関する次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 労働生産性は、労働装備率と付加価値率に分解できる。

(イ) 1人当たり人件費は、労働生産性と労働分配率に分解できる。

選択肢 ①(ア)正 (イ)正 ②(ア)正 (イ)誤
 ③(ア)誤 (イ)正 ④(ア)誤 (イ)誤

問2 次の資料により、WACC(加重平均資本コスト)を計算し、正しい数値を選びなさい。なお、算出された数値は、小数点以下第3位を四捨五入すること。

| | | | |
|-----------|-----------|----------|-----|
| 有利子負債(簿価) | 24,800百万円 | 株主資本コスト | 10% |
| 有利子負債(時価) | 25,900百万円 | 有利子負債コスト | 2% |
| 純資産 | 12,000百万円 | 実効税率 | 35% |
| 株式時価総額 | 18,000百万円 | | |

選択肢 ① 4.14% ② 4.87% ③ 5.28% ④ 5.65% ⑤ 6.12%

解答 【問1】③ 【問2】②



1～3級の過去問題の一部は、
公式ホームページに掲載しています。

推薦のメッセージ

大阪ガス株式会社
理事 財務部長
栗山 亮さん
ビジネス会計検定委員

—— ビジネス会計検定試験®について

簿記(財務諸表を作る)の知識がなくても、学習を通じて、企業の会計情報を理解し、活用するための基本的な知識や方法を体系的に取得することが可能です。会計初学者にとっても非常に学びやすい内容です。

貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書と計算構造が出題されます。この3表は、会計知識の基礎となるものであり、これから会計を学ぼうとされるビジネスパーソン、学生の方へお薦めです。

—— 合格者に期待すること

企業の経営実態を読み取り、投資や取引等の意思決定を数字から支える能力は、ビジネスの場はもとより、株式投資等の社会生活の場でも重要性が増しています。

ビジネス会計検定を通じて、会計知識や情報を活用する力を身につけ、多くの場で役立てていただくきっかけになることを願っています。

企業の声

クリエイト株式会社
取締役 管理本部長
五十嵐 昭彦さん

—— 導入の背景

年に1回マネジメント層を中心に与信管理の社内研修を定期的で開催していましたが、十分な知識の底上げができないという悩みを抱えていました。そこでたどり着いたのがビジネス会計検定でした。導入を検討する段階で、まず私自身が受験しました。その学習の中で、難易度や範囲について、「財務・会計の初心者でも取り組みやすく、営業職のスキルアップにも最適ではないか」と感じ、合格した際には「研修では味わえない達成感」も得られ、自己啓発としての可能性を確認しました。

—— 合格者に期待すること

当社は人的資本経営として、性別や職位に関係なく、様々な経営スキル(財務、法務、営業、サステナビリティ、サプライチェーンマネジメント等)や自身の専門分野、趣味など多岐にわたる自己研鑽・自己啓発に取り組む人材を育成したいと考えています。

合格者には、管理部門には会計的なマネジメントスキル、営業部門には会計的な視点から取引先の経営姿勢や財務内容を把握する力を磨いてほしいと思います。そしてビジネス会計検定を通じて芽生えた「自己研鑽の文化」が社員から社員へ伝播していくことを期待しています。

合格者の声

ソフトバンク株式会社
稲葉 俊昭さん
(2級合格)

—— 会計知識のブラッシュアップに！ 受験のきっかけや学習方法

現在の会計基準が経理業務に携わっていた頃と大きく変わっていたため、改めて学習する方法を探していたところ、ビジネス会計検定と出会いました。

私の場合、2級の学習期間は1か月程度、学習方法としては、公式の最新テキストと過去の公式問題集を3版購入し、その問題を全て解き、不明点は公式テキストに戻って確認することを繰り返し行いました。

—— 特に役立った内容や受験を検討される方に一言

特に役立った内容はキャッシュ・フロー計算書の作成方法です。この領域を扱う試験は少なく、学習することによって実務にも大きく役立つと思います。

実務で必要な会計基準は常に変わっていくので、リスクリングとしてビジネス会計検定を利用して、自分の知識を維持更新していくことも有効だと思います。

西野金陵株式会社
管理部 取締役管理部長
宝智 巧さん

—— 導入の背景

当時はコロナ禍2年目。営業活動が抑制されている中、社内ですること何かと考えた時、社内研修や自己啓発が思い浮かび、様々な研修や資格・検定をリストアップしていたところ、目に留まったのがビジネス会計検定でした。経営者のみならず、営業担当者、事務員に至るまで社員全員が財務諸表の見方を学習することで、利益感覚が身につく、予算管理やコスト削減などを考え、おのずと自社の競争力が高まるだろうとの思いから導入しました。

—— 合格者に期待すること

学習を通じて身につけた会計知識を活かして、収益性を重視した提案や改善・改革の実行力を高めたいと思います。また、検定試験に合格して終わりではなく、それを第一歩として、常に学習を続けて、スキルアップにつなげてほしいと考えています。